

風しんから自身と周りの人を守るために ワクチン接種をしましょう！

風しんの感染を拡大させる可能性があります

《対象者》

今年度は、1972(昭和47年)年4月2日から1979(昭和54年)年4月1日生まれの男性

《受診方法》

(1) お手元に届いているクーポン券により、健康診断の機会やお近くの医療機関に予約して抗体検査を受けましょう。

(2) 風しんへの抵抗力が無いこと(抗体なし)がわかった場合、予防接種を受けましょう。

※対象者は『風しんの抗体検査』および『予防接種』が原則無料となります。

《実施期間》

令和2年3月31日(火)まで

《その他》

なおクーポン券が届いていない方や転入してきた方で対象の場合は、健康福祉課にご連絡ください。

子どもの頃に風しんに感染したかどうか記憶が曖昧な場合も抗体検査を受けましょう!!

風しんの抗体保有率がほかの世代と比べて、低い世代の方です。



よくある質問

Q. どうして風しんの追加的対策を実施しているのですか？

A. 風しんは、感染者の咳やくしゃみ、会話などの飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつる、感染力が強い感染症です。

妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、出生児が先天性風しん症候群(眼や耳、心臓に障害が出ること)になる可能性があります。

大人になってから感染すると無症状から軽症なことが多いですが、まれに重篤な合併症を併発することがあります。

また無症状でも電車や職場などの人が集まる場所で他の人に風しんをうつすことがあるので、感染を拡大させないためには、社会全体が免疫を持つことが重要です。

健康福祉課 (☎ 72-6934)



風しんの追加的対策の詳しい情報については、厚生労働省のウェブサイトをご覧ください。

風しんの追加的対策 検索